

# 首相、領収書不備認める

衆院選運動費 ただし書き不記載98枚

岸田文雄首相は二十四日、昨年十月の衆院選に伴う選舉運動費用收支報告書に添付した領収書の一部にただし書きが記載されていない不備があったと認めた。支出自体は「適正だと確認している」とし、再発防止を事務所に指示したと明らかにした。官邸で記者団の質問に答えた。首相の衆院議員事務所は、「ただし書きの記載がない領収書は九十八枚だとした。」(O)〔年〕度第一次補正予算案が二十五日から衆院予算審議会で審議されるのを前に沈静化を急いだ形だ。

首相は、「ただし書きがない領収書は与野党を問わずたくさん確認されている」と説明。今後はただし書きも記すよう発行者に依頼するとした。不備を確認した領収書の中には、宛名がないものもあり「適応対応する」と強調した。

立憲民主党の長妻昭政調査会長は「予算委での答弁を確認する」とのコメントを発表した。「自民党本部な

り支出の目的を把握し、収支報告書の本体には目的を明記したい」とした。

公選法の規定では、領収書には支出の金額と年月日、目的を記載しなければならないと定めている。首相の事務所は「選管に領収書を提出した際も特段の指

定に確認したり」など、ただし書きのない領収書は与野党を問わずたくさん確認されている」と説明。今後はただし書きも記すよう発行者に依頼するとした。不備を確認した領収書の中には、宛名がないものもあり「適応対応する」と強調した。

立憲民主党の長妻昭政調査会長は「予算委での答弁を見て精査していく」と記者団に述べ、首相の説明を注視する考えを示した。日本

維新の会の首喜多駿政調査会長は「政治資金問題は信頼の根幹に関わる。説明責任を果たしてもらいたい」と指摘した。共産党の志位和夫委員長は記者会見で、「力不足らずで二閣僚が辞任した点に触れ、「首相自身のだらしない姿勢がダメ」が辞任の形で表れた。四人目は首相自身だ」と述べ、内閣総辞職を求めた。



記者団の取材に応じる岸田首  
相=24日午前、首相官邸